
令和7年度

学校評価

旭市立共和小学校

令和7年度 学校教育活動アンケート（保護者アンケート）について

☆アンケート集計結果☆

評価	4→当てはまる	3→やや当てはまる	4と3の合計を「肯定的評価」と考えます。
項目	2→あまり当てはまらない	1→全く当てはまらない	2と1の合計を「否定的評価」と考えます。

※各項目の単位は「%」です。

※各項目の上段の数値は、今年度(令和7年度)調査のもの、下段は、昨年度(令和6年度)調査のものとなります。

No.	評価の観点	4	3	2	1	肯定的 評価	否定的 評価
1	学校の教育目標や教育方針は、お便り等で分かりやすく伝えられている。	58.6	39.5	1.9	0.0	98.1	1.9
		52.3	45.4	2.3	0.0	97.7	2.3
2	学校の様子や子どもたちの活動を、お便りや連絡帳を通じて知ることができる。	61.9	35.7	2.4	0.0	97.6	2.4
		50.8	43.8	5.4	0.0	94.6	5.4
3	学校は、アンケートや日常観察等を通して児童の様子を把握し、望ましい交友関係を築くことに努めている。	51.4	39.5	9.0	0.0	91.0	9.0
		39.2	50.0	10.0	0.8	89.2	10.8
4	学校は、適切できめ細かな指導や支援を行っている。	51.4	43.3	5.2	0.0	94.8	5.2
		37.7	54.6	6.9	0.8	92.3	7.7
5	学校は、楽しく意義のある行事や体験学習を実施している。	72.9	26.7	0.5	0.0	99.5	0.5
		61.5	38.5	0.0	0.0	100.0	0.0
6	学校は、ICT教育の充実に力を入れている。	38.6	55.7	5.7	0.0	94.3	5.7
		25.4	62.3	12.3	0.0	87.7	12.3
7	教職員は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	57.1	37.6	4.8	0.5	94.8	5.2
		46.2	43.8	9.2	0.8	90.0	10.0
8	お子さんは、学校が楽しいと感じている。	67.6	27.6	4.8	0.0	95.2	4.8
		65.4	32.3	2.3	0.0	97.7	2.3
9	お子さんは、学校の教育活動の中で「できた」「分かった」という実感を持っている。	51.4	40.5	8.1	0.0	91.9	8.1
		33.1	60.0	6.9	0.0	93.1	6.9
10	※学校は、読書活動（朝読、読み聞かせ、読書賞等）に力を入れている。	48.8	46.4	4.7	0.0	95.3	4.7
		18.5	40.8	36.9	3.8	59.2	40.8
11	※学校は、家庭学習を身に付けさせるために、家庭と連携して取り組んでいる。	38.1	48.6	12.9	0.5	86.7	13.3
		21.5	43.1	29.2	6.2	64.6	35.4
12	お子さんは、挨拶する習慣が身につけてきている。	37.6	51.9	10.5	0.0	89.5	10.5
		32.3	53.1	13.1	1.5	85.4	14.6
13	お子さんは、友達と仲良くしたり、協力して生活したりすることができている。	53.3	42.9	3.3	0.5	96.2	3.8
		53.1	43.8	3.1	0.0	96.9	3.1
14	お子さんは、自分の立てた目標に向かって、あきらめずに粘り強く取り組もうとする姿が見られるようになってきている。	31.0	51.0	15.7	2.4	81.9	18.1
		24.6	46.9	27.7	0.8	71.5	28.5
15	お子さんは、学校の決まりや社会のルールを守って生活している。	51.0	47.1	1.4	0.5	98.1	1.9
		50.8	46.2	3.1	0.0	96.9	3.1
16	※お子さんは、体力向上のために進んで運動や遊び（外遊び他）等に取り組んでいる。	46.7	36.7	13.8	2.9	83.3	16.7
		41.5	35.4	20.8	2.3	76.9	23.1
17	お子さんは、交通安全やいざという時の対応など、安全の意識や自分の身を自分で守る態度が身につくにつつまある。	31.9	53.8	13.8	0.5	85.7	14.3
		26.9	59.2	13.8	0.0	86.2	13.8
18	スマートフォン、タブレットや通信型ゲーム機の使用について、お子さんと使用時間や使用のルールを決めている。	31.0	42.9	19.0	7.1	73.8	26.2
		32.8	37.3	21.6	5.2	75.8	24.2

延べ210名の保護者の皆様にアンケートをいただきました。ご協力ありがとうございました。

91.5

※質問内容が一部変更となっております。

86.4

学校教育活動アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。お寄せいただいたご意見・ご要望・励まし等を真摯に受け止め、教育活動がより良いものになりますよう、教職員一同、襟を正して指導・支援に努力してまいります。アンケートの集計結果と皆様のご意見の要旨をまとめましたので、ご覧ください。



【アンケートの集計結果の考察について 昨年度の肯定的な評価との比較】

学校運営に関する評価（No1～4）では、前年度と比べ93.5%→95.4%（+1.9%）となりました。今後も知・徳・体の調和のとれた児童を育成し、将来に向けて夢や希望を育む教育を推進していきたいと思えます。

学力向上（キャリア教育）に関する評価（No5、6、8～11）では、全体的には肯定意見が上がったものの、教育活動の中で「できた」、「わかった」という実感を持っていると感じる割合が-1.2%となりました。今後も学校と家庭の連携・協力を大切に保護者も実感できるような指導を目指し、さらに職員研修も推進し指導内容や方法の工夫・改善に力を入れてまいります。

基本的な生活習慣の育成に関する評価（No12～16）では、前年度と比べ85.5%→89.8%（+4.3%）となりました。挨拶する習慣、諦めずに粘り強く取り組む、体力向上に向けての取組などについての項目は向上しているものの、依然として90%未満の回答となっています。今後も引き続き発達段階に応じた指導や教育活動全体を通しての取組を行ってまいります。

今回の結果を真摯に受けとめ、家庭と正確な情報を共有しながら協力体制を築き、より一層の学校教育活動の充実を目指し努力してまいります。

【ご意見・励まし等】

◎毎日、学校での出来事、楽しかった事などをよく話をしてくれます。何かあれば先生に相談しているようです。対応していただき感謝しております。（同様の内容の意見を複数いただきました。）
⇒児童が学校での様子を保護者に話してくれることは、児童の健全育成のために大切なことと考えております。また感謝のお言葉は職員としても励みになります。今後も継続して丁寧な対応を心がけ、保護者にとっても幸福感や安心感に繋がるように取り組ませていただきます。保護者の皆様も何かあれば気軽にご相談ください。

◎授業参観を増やしてほしい。学校での日頃の児童の様子をもっと見たい。（児童と児童、児童と先生など、どんな様子で接しているかを見学したい。）

⇒今年度は、全学年で4月、7月、11月、3月に学校公開を実施し、運動会、マラソン大会、芸術鑑賞会などの行事も含め児童の様子を見学していただいております。また、家庭教育学級（第1学年）では親子で協力する活動、ミニコンサート（第6学年）、校外学習や調理実習、ミシンを使った実習などにおいては、保護者の皆様の協力のもと、児童の安全確認や励ましの言葉をいただきながら、日頃の児童の活動を目の前で見ていただいております。これからも貴重なご意見をお預かりし、日頃の児童の様子を見られるような機会を検討させていただきます。

【ご要望・ご質問等】

◎タイトルのお知らせに「アンケートあり」や「学校諸経費」等、重要度がわかるようなマークがあると嬉しい。連絡が何度も送られてくると埋もれてしまい後々気が付くことがある。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。マークを入れる、タイトル名の工夫など、保護者がわかりやすい情報提供ができるようにしていきます。今後ご家庭に寄り添った丁寧な対応に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

◎お金の勉強（金融教育）を子どものうちから学校でもやっていくべきだと思います。

⇒学校では、お金に関する学習を第5～6学年に家庭科の授業で行います。また今年度は、地元企業JAちばみどり様のご協力のもと、金融教育を実施しました（第5学年）。今後も、教員による学習を中心に、企業や地域人材も活用し、より専門的な学習を推進していきます。よろしくお願いいたします。

◎防犯対策に力を入れるのは理解できますが、登校時の昇降口をもう少し早く開けてもらえたらありがたい。（雨風が強い日があるため。学校での支度も落ち着いてできるため。）

⇒共和小では、毎朝7：40に児童昇降口を開けております。また、悪天候の日などは早めに開放し、迎え入れをしているところです。今後も児童の目線に立ち、臨機応変に早めの開放を意識してまいります。学校としては、職員の出勤時間（8：00）の関係もあるため、原則7：40の開放、悪天候の場合などはできるだけ早めの開放という形で、ご理解とご協力をお願いいたします。

その他、学校行事やPTA活動に関するご意見をいただきました。今後もいただいたご意見をもとに、児童が安全・安心で楽しく充実した学校生活を送れるように教育課程の検討を推進し、一層力を入れてまいります。貴重なご意見をありがとうございました。

(児童) 学校生活アンケート 全校集計

12月調査 R7年度

R7年12月調査

		4：よく当てはまる	3：やや当てはまる	2：あまり当てはまらない	1：まったく当てはまらない	肯定	否定	昨年 肯定
1	がっこうは、たの 学校は、楽しい。	70.1%	25.6%	4.3%	0.0%	95.7%	4.3%	94.8%
2	じゅぎょう 授業は、わかりやすい。	58.8%	37.9%	2.4%	0.9%	96.7%	3.3%	92.5%
3	はっぴょう 発表をがんばっている。	44.1%	31.3%	21.8%	2.8%	75.4%	24.6%	72.7%
4	ともだち はっぴょう き 友達の発表を聞いている。	71.6%	25.6%	2.4%	0.5%	97.2%	2.8%	96.2%
5	どくしょ 読書をがんばっている。	42.7%	35.5%	19.0%	2.8%	78.2%	21.8%	76.0%
6	タブレットなどをつか ったがくしゅう 学習をがんばっている。	63.0%	28.4%	7.6%	0.9%	91.5%	8.5%	92.0%
7	しゅくだい かていがくしゅう 宿題や家庭学習をがんばっている。	61.1%	27.5%	9.0%	2.4%	88.6%	11.4%	90.0%
8	はやね はやおきをし、けんこう す 早寝・早起きをし、健康に過ごせるようにしている。	78.7%	17.5%	3.3%	0.5%	96.2%	3.8%	94.3%
9	ともだち なか 友達と仲よくしている。	86.3%	11.4%	1.4%	0.9%	97.6%	2.4%	98.6%
10	はきはきと返事をしている。	56.9%	37.0%	5.7%	0.5%	93.8%	6.2%	93.4%
11	すす 進んであいさつをしている。	65.4%	28.4%	5.7%	0.5%	93.8%	6.2%	93.9%
12	たいいく やす ひかかん などすす うんどう 体育や休み時間などは進んで運動をしている。	61.1%	26.5%	7.1%	5.2%	87.7%	12.3%	89.1%
13	だれ 誰にでもやさしくおも いやりをもってせい かつ 生活している。	71.1%	23.7%	1.9%	3.3%	94.8%	5.2%	98.6%
14	かかりかっどう いいんかい 係活動(委員会)をがんばっている。	82.9%	15.2%	1.4%	0.5%	98.1%	1.9%	98.2%
15	そうじをがんばっている。	71.1%	26.1%	2.8%	0.0%	97.2%	2.8%	96.2%
16	あんぜん き 安全に気をつけてせい かつ 生活している。	68.7%	28.0%	2.4%	0.9%	96.7%	3.3%	94.3%
17	がっこう 学校のきまりややくそく まも 守っている。	74.4%	22.3%	3.3%	0.0%	96.7%	3.3%	94.8%

92.7%

92.1%

令和7年度 学校関係者評価

旭市立共和小学校

1 学校教育目標

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成 ～みんなにここに 共和小～」

2 本年度の重点化された具体的な目標

① だれもが尊重される潤いのある学校づくり	・自己肯定感をもち、目標に向かって努力する子を育てる。(児童) ・健康で明るく、働きやすい職場環境づくりに努める。(職員) ・美しい学校環境の整備に努める。(環境)
② ふるさとに誇りをもち、社会に視野を広める子どもの育成	・学校、学区、地域の歴史や資源を活用した学びを推進する。 ・夢を育むキャリア教育を推進する。
③ 確かな学力と学び続ける姿勢の確立	・基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現のため体験的・問題解決的な学習を充実する。 ・読書活動と家庭学習の習慣化を進める。
④ 一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育	・特別支援教育の視点をもち、実態把握と児童理解に努める。 ・個に応じた教育課程の編成と教育実践に努める。 ・家庭・地域及び関係機関と連携した支援体制の整備を推進する。
⑤ 豊かな人間性と思いやりの心の育成	・豊かな人間性や社会性、コミュニケーション能力等を高めるために道徳教育を一層推進する。 ・児童の道徳性を高めるための体験活動を推進する。 ・いじめ防止対策に則ったいじめの早期発見とともに、いじめを許さない環境を醸成していく。
⑥ 健康・安全・食に関する指導の推進	・運動に親しむ資質・能力の育成と体力の向上を図る。 ・健康な生活を実践する能力と態度の育成を図る。 ・危険に適切に対処できる知識や行動力を育む。 ・学校施設・設備や環境の整備に努める。
⑦ 地域とともに歩む学校づくりの推進	・保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。 ・学校・家庭・地域と連携した開かれた学校づくりを推進する。
⑧ 信頼される教職員	・キャリアステージに応じた指導力向上を図る体制づくり ・モラルアップ委員会の効果的運営 ・不祥事根絶に向けた研修の充実 ・学校における働き方改革(業務改善と職員の意識改革)の推進 ・笑顔あふれる風通しのよい職場環境づくり

学校関係者評価委員 (学校運営協議会委員) ※敬称略
共和・喫煙地区 区長会長 平野 勝寛
共和地区主任児童員 鈴木 洋隆
共和地区 社会福祉協議会 会 長 高安 太一
共和地区保護司代表 石崎 弘幸
共和地区 青少年相談員 赤座 剛
共和小 地域コーディネーター 金谷 茂
共和小PTA会長 百村 卓也

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

学校による自己評価の評価基準 : A(満足できる)、B(ほぼ満足できる)、C(やや努力が必要である)、D(努力が必要である)
学校関係者評価の評価基準 : A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

分野・領域	評価項目	評価の指標	自己評価	考察と改善に向けた取組	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校運営教育課程	保: お子さんは、学校が楽しく感じている。 児: 学校は、適切できめ細やかな指導や支援を行っている。 保: 学校は、楽しく意欲のある行事や体験学習を実施している。 職: 様々な機会を捉えて、児童の様子を伝えている。	保護者の95.2%、児童95.7%から肯定的評価を得た。 保護者の94.8%から肯定的評価を得た。 保護者の99.5%から肯定的評価を得た。 職員の94%が「十分」(概ね十分)と考えている。	A A A A	学校運営全般に関する設問に対して、保護者からどれか90%以上の高い評価をいただいている。行事や体験活動は、発達段階に応じた内容のものを積極的に取り入れてきた。今後も、地域の人材を活用しながら、様々な体験を通して社会に視野を広める子供の育成を目指していきたい。また、適切できめ細やかな指導・支援に努め、保護者や地域の方々のニーズに応えていきたい。	A	A
学校関係者による意見等	・子ども達が楽しく学校に通っている姿を見て安心している。何事も平均以上に運営されていると思う。 ・いずれの項目も大変高い評価をいただけており、とても素晴らしいことと思う。					
学習指導	保: お子さんは、学校の教育活動の中で「できた」「分かった」という実感を味わっている。 児: 授業は、わかりやすい。 保: ※家庭は、読書活動(朝読、読み聞かせ、読書賞等)に力を入れている。 児: 読書ががんばっている。 保: ※学校は家庭学習を身に付けさせるために、家庭と連携して取り組んでいる。 児: 家庭や家庭学習をがんばっている。 保: 学校は、ICT教育の充実を力を入れている。 児: タブレットなどを使った学習をがんばっている。 職: 一人一人を大切に、楽しい学級作り(授業づくり)を行っている。 職: 児童の実態に応じた指導方法の工夫と適切な評価を実施し、わかりやすい授業を行っている。	保護者の92%、児童97%から肯定的評価を得た。 保護者の95.3%、児童78%から肯定的評価を得た。 保護者の88.7%、児童87%から肯定的評価を得た。 保護者の94.3%、児童の91.5%から肯定的評価を得た。 教員の100%が「十分」(概ね十分)と考えている。 教員の100%が「十分」(概ね十分)と考えている。	A B B B A A	児童の実態に応じた「わかる授業」楽しい授業・学級づくりを目指してきた。児童の評価は高くなり高くなっている。保護者へは、ホームページや学校便り、学校公開等で学校の実践や活動の様子をさらに詳しく伝えていきたい。 読書、家庭学習については、今年度、学校の取組としての評価という形に変え評価を行った結果、95%以上の保護者からの肯定的評価を得ることができた。しかし、児童の中での読書への取組状況はまだ個人差がある。 また、家庭学習についても昨年に比べ、保護者の肯定的評価が増え、学校の取組への理解は高まっていると思われる。今後も家庭と連携しながら読書活動や家庭学習の習慣化を図っていき、さらに向上するよう努力したい。 学年差はあるが、児童は日常的にタブレットを活用しており、ICT教育に関わる児童の評価は、高くなっている。家庭学習等でもさらなる充実が図れるよう、取り組んでいきたい。	A	B
学校関係者による意見等	・全体的に児童一人一人に対応していると思う。 ・読書について、読むことだけでなく「読む」ということの意味や楽しさも伝えてあげて欲しい。本を読むことは大切だと思うので取組を継続して欲しい。 ・読書を頑張ってもらったに、副賞を段階的にアップせたり、漫画などを置いて対象にしたり、タブレット内の読書も対象にするとどうでしょう。集金などで読書好きの著名人の成功体験などを話すのも					
生徒指導	保: お子さんは、自分の立てた目標に向かって、あきらめずに粘り強く取り組もうとする姿が見られるようになってきている。 保: 学校は、アンケートや日常観察を通して児童の様子を把握し、望ましい交友関係を築くことに努めている。 保: お子さんは学校の決まりや社会のルールを守って生活している。 児: ※友だちと仲よくしている。 職: いじめや問題行動防止のための早期発見、早期対応に組織的に取り組んでいる。	保護者の81.9%から肯定的評価を得た。 保護者の91%から肯定的評価を得た。 保護者の98.1%から肯定的評価を得た。 児童の97.6%、職員の100%から肯定的評価を得た。	B A A A	児童の粘り強さに期待して保護者の評価は、昨年よりかなり向上した。体験活動や行事の場面だけでなく日常生活においても、目標を持って望むよう指導しており、様々な場面で自主性や積極性も見られるようになってきている。一人一人の児童の活躍の場を伸ばし、積極的に物事に取り組める児童を育てていきたい。 児童の様子を把握するため、定期的にアンケートを行い、児童の不安等を聞き取り丁寧な面談等を行っている。このことが保護者にも理解され、評価をいただいている。規範意識の向上やいじめ等の防止についても組織的に取り組んでいきたい。今後も職員全員で共通意識を持って、丁寧に行っていきたい。	A	A
学校関係者による意見等	・児童は望ましい交友関係を築いていると思う。小さな目標が達成できるうれしさを感じてもらえるように支援していただきたい。 ・何事も粘り強い姿勢は学校側だけで形成される問題ではなく、家庭での要素が強いと思われる。					
道徳・人権教育	保: お子さんは、家族以外にも挨拶する習慣が身につけてきている。 児: 進んで挨拶をしている。 職: 挨拶の意義について話したり、よくできた子をほめたり、挨拶を推奨する取り組みを行っている。 保: お子さんは、友だちと仲良くしたり、協力して生活したりすることができている。 児: 誰にでもやさしく思いやりをもって生活している。 職: すべての教育活動を通して、思いやりの心や協力する大切さを育てている。	保護者の89.5%、児童93.8%、職員の100%から肯定的評価を得た。 保護者の95.2%、児童94.8%から肯定的評価を得た。 職員の100%が「十分」(概ね十分)と考えている。	B A A	児童の「友だちや周りの人」に關する項目は、今年度「友だちと仲よく」から「誰にでもやさしく思いやりをもつ」の項目に変更して調査を行った。児童にはことごとく「思いやり」について話してきたため、意識して取り組めたかと思われる。保護者に加え、児童においても高い評価を得た。今後も、道徳教育に力を入れて取り組み、豊かな心を育てていきたい。 挨拶については今年度も重点指導項目として取り組んできた結果、児童、教職員の評価は90%以上、保護者の評価も昨年より向上してきている。学校での実践を、家庭や地域の中でも発揮できるよう引き続き指導を続けていきたい。	A	A
学校関係者による意見等	・積極的に挨拶ができるように家庭と協力して活動していただきたい。挨拶はどちらかというと親の方ができていないかもしれない。根気よく声をかけていき褒めてやるにつけると思う。 ・小1の息子が「ごめんない」がいえるようになった。(反抗期が...) ・「思いやり」(相手の気持ちになって)の指導はずっと続けてほしいと希望する。					
保健・体育安全管理	保: お子さんは、進んで体を動かしたり、運動したりしようとしている。 児: 進んで運動している。 保: お子さんは、交通安全や安全の身を守る態度が身に身につくようである。 児: 安全を考えた行動をしている。 職: めあてをもたせて、教科体育や外遊び、体力作りに取り組ませている。	保護者の83.3%、児童の87.7%から肯定的評価を得た。 保護者の85.7%、児童の96.7%から肯定的評価を得た。 職員の94%が「十分」(概ね十分)と考えている。	B B A	運動に関しては学校でも体力向上の取組として業間活動や屋外での外遊びを推奨するなど、学校全体で行っているものの、「進んで運動」という面ではまだ十分ではないという評価をいただいている。引き続き外遊びを推奨するとともに、体育科の授業の充実を図り、計画的な体力作りを進め、進んで運動できる子どもの推進を図ってきたい。 避難訓練や交通安全教室、日常の安全指導等を通して、自分の命は自分で守るという意識を高めてい。また事故や怪我の未然防止に向けても、危険に適切に対応できる知識や行動力を養っていききたい。	B	A
学校関係者による意見等	・なわとび発表は、どの子どもも一生懸命活動する場所があり、とてもよい。協力する姿も見られてよかった。 ・休み時間にほとんどの子が体を動かす時間が特々しているのはよかった。(さらに促すために)天気の良い日は校内放送にて休み時間の外遊びを呼びかけてみてはどうでしょう。 ・交通安全についての練習はよい。					
保護者・地域との関わり	保: 学校の教育目標や教育方針は、お便り等でわかりやすく伝えられている。 保: 卒業の様子や子どもたちの活動を、お便りや連絡帳を通して知ることができている。 保: 教職員は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。 職: 保護者の相談にはすぐに対応し、真摯に取り組んでいる。	保護者の98.1%から肯定的評価を得た。 保護者の97.6%から肯定的評価を得た。 保護者の94.8%から肯定的評価を得た。 職員の100%が「十分」(概ね十分)と考えている。	A A A A	学校からの情報発信については、今後も適切に行うとともに、保護者との運営会議に行っていく。 今年度は、150周年記念行事等も含め、学校運営協議会でも学校運営についての様々なご意見をいただくこととし、保護者や地域の皆様の多くの協力を得ることができ、充実した教育活動に繋がった。次年度も、外部人材の活用や交流を深めていけるよう工夫したい。	A	A
学校関係者による意見等	・子ども達の活動の様子を知ることができているのでとてもよい。 ・先生方も共和小のために頑張っていると評価できる。 ・制約や問題も多々あると思うが、外部人材の活用などは今後力を入れていって欲しい。地域コーディネーターとしてももっと協力できるよう努めたい。					